

## 一般演題1 O1-8 教育プログラムを用いた操作者の育成

加藤恭浩<sup>1)</sup> 長谷川将太<sup>1)</sup> 杉山知泰<sup>1)</sup>  
船田寿成<sup>1)</sup> 水野琢呂<sup>1)</sup> 三輪直毅<sup>1)</sup>  
水谷喜雄<sup>2)</sup> 斎藤史郎<sup>2)</sup> 金田英巳<sup>2)</sup>  
山田実貴人<sup>2)</sup>

1) 社会医療法人厚生会木沢記念病院 臨床工学課  
2) 社会医療法人厚生会木沢記念病院 救急部門

### 【はじめに】

2018年4月より高気圧酸素治療（以下HBO）の診療報酬が増点した。当院ではHBOの認知度が高まり治療件数が増加した。そのため操作者の育成が今まで以上に必要であると考えられる。当院におけるHBO操作者育成を見直したので報告する。

### 【方法】

新人教育プログラムとして2段階でのプログラムを作成し、指導教育担当育成のプログラムも作成した。新人教育プログラムでは1段階で基礎的な学術と操作方法の指導があり、第2段階で臨床業務の指導を行う。その後指導者の監視下にて100件施行し教育プログラムを終了とする。すべての項目について評価表にて5

段階評価を行い新人にも何ができていないのか理解できるように作成した。

### 【結果・考察】

教育プログラムを作成し教育を行う事で、指導者と新人が共通認識を持つことが可能であり操作者の育成に大いに役に立つことが考えられた。数名の指導者で教育を担当している為、評価表を用いる事で一貫した教育が可能になった。評価表を用いている為、指導者だけではなく新人もできていることと、できていないことが理解しやすく目標も立てやすくなったと考えられる。教育プログラムはHBO操作者の育成だけではなく他の業務の教育においても有効であると考えられる。

### 【結語】

HBOの操作者育成において教育プログラムを用いての育成は有効であった。

高気圧酸素治療	担当者	実施評価
第1段階		
1 高気圧酸素治療における生理学が分かる		1 2 3 4 5
2 高気圧酸素治療の適応疾患とその機序が分かる		1 2 3 4 5
3 高気圧酸素治療における禁忌が分かる		1 2 3 4 5
4 高気圧酸素治療の装置操作（加減圧）方法が分かる		1 2 3 4 5
第2段階		
1 高気圧酸素治療装置の操作ができる		1 2 3 4 5
2 高気圧酸素治療の患者説明ができる		1 2 3 4 5
3 高気圧酸素治療が安全に施行できる		1 2 3 4 5
4 高気圧酸素治療施行時のトラブル発生時対処方法が分かる		1 2 3 4 5
指導担当者		
第1段階について		
高気圧酸素治療施行1000件以上の者		
第2段階について		
高気圧酸素治療専門技師の有資格者		